

Java



盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

★☆☆★本日の内容★☆☆★

1. デフォルトページの内容
2. 動的WebプロジェクトでのJDBCドライバ



◆URLについて(復習)

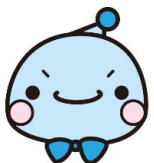
サーブレットのURLの構成は下記の通りである。

http://<サーバ名>/<アプリケーション名>/<URLパターン>

サーバ名・・・ 本授業ではローカル環境にサーバを作成しているので「localhost:8080」固定
別にサーバを立てた場合は「IPアドレスorホスト名:ポート番号」となる。

アプリケーション名・・・ プロジェクト名がそのままアプリケーション名となる。

URLパターン・・・ デフォルトではクラス名です。@WebServletアノテーションで任意の値に
指定可能。



◆トップページの仕組み

通常のWebサービスはTopページを表示する際はドメイン名のみで表示することができます。

例えば、amazonであれば「<https://www.amazon.co.jp/>」でトップページにアクセスすることができます。

この仕組みを「**デフォルトページ**」と言います。

Tomcatサーバも同じようにドメイン名(プロジェクト名)のみでトップページにアクセスする仕組みがあります。



◆tomcatのデフォルトページ

tomcatのデフォルトページはweb.xmlに設定値が定義されています。デフォルトでは下記のように設定されています。

```
<welcome-file-list>
  <welcome-file>index.html</welcome-file>
  <welcome-file>index.htm</welcome-file>
  <welcome-file>index.jsp</welcome-file>
</welcome-file-list>
```

デフォルトページが呼び出された際は「index.html」が優先で表示され、無ければ「index.htm」「index.jsp」の順で優先されます。

また、デフォルトページは**ブラウザから直接アクセスできる階層**に保存する必要があります。(つまりwebapp直下)



※Web.xmlはworkspace内のServersフォルダ内に格納されています。

◆動的WebプロジェクトでのJDBCドライバの使い方

① WEB-INF/lib フォルダにJDBCドライバをコピーする

※ビルドパスからの追加ではないので、注意

② loadDriver() メソッドを作成する。

```
private static void loadDriver() {  
    try {  
        // JDBCドライバのロード  
        Class.forName("com.mysql.cj.jdbc.Driver");  
    } catch (ClassNotFoundException e) {  
        e.printStackTrace();  
    }  
}
```

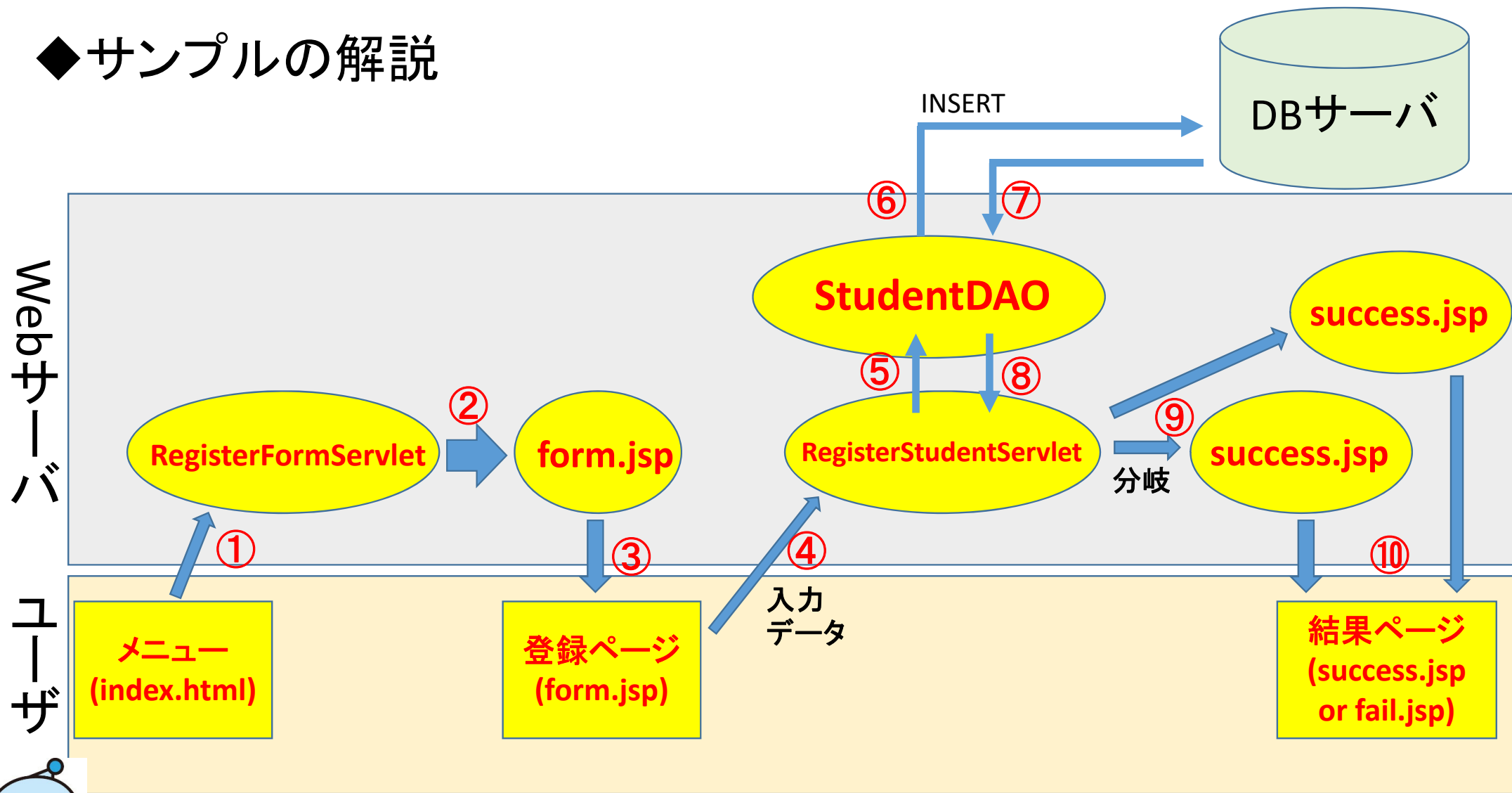
③ 各メソッドの先頭で②のメソッドを実行する。

```
public static int registerStudent(Student student) {  
    loadDriver();  
    ~ 省略 ~  
}
```

④ あとは普通にDBアクセスのコードを記述する



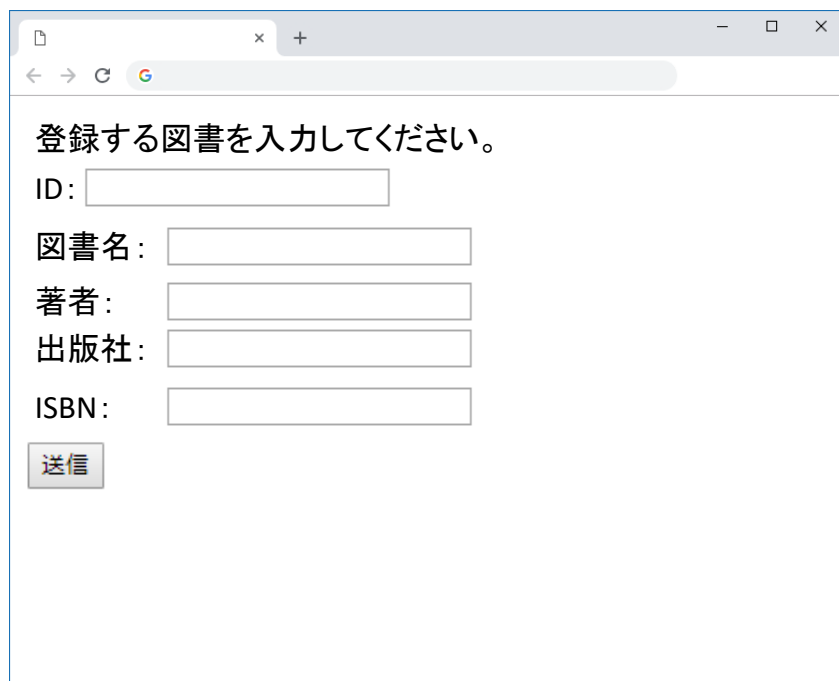
◆サンプルの解説



◆練習問題 (必須課題)

問1: フォームに入力された情報をもとに図書データベースに
図書を1件登録するアプリケーションを作成せよ。

また、登録後に画面遷移して登録した内容を表示せよ。



登録する図書を入力してください。

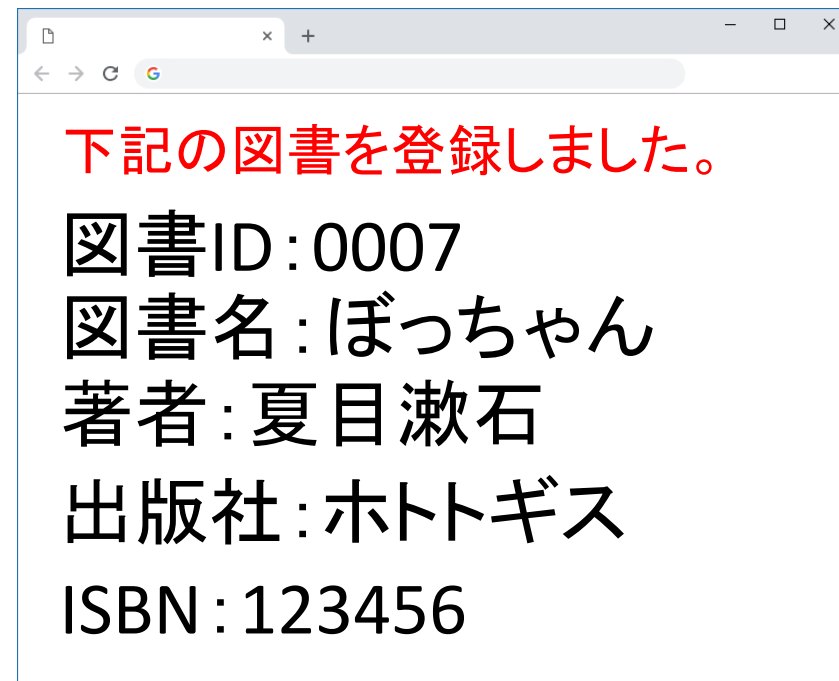
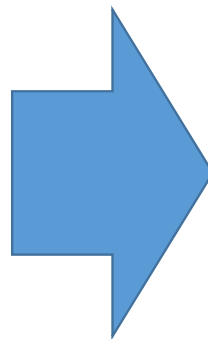
ID:

図書名:

著者:

出版社:

ISBN:



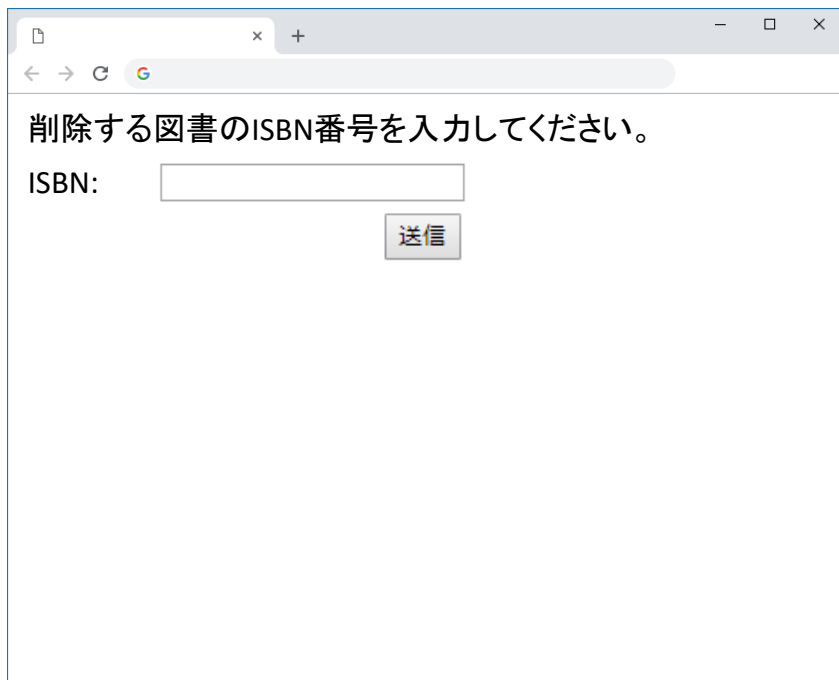

下記の図書を登録しました。

図書ID: 0007
図書名: ぼっちゃん
著者: 夏目漱石
出版社: ホトトギス
ISBN: 123456



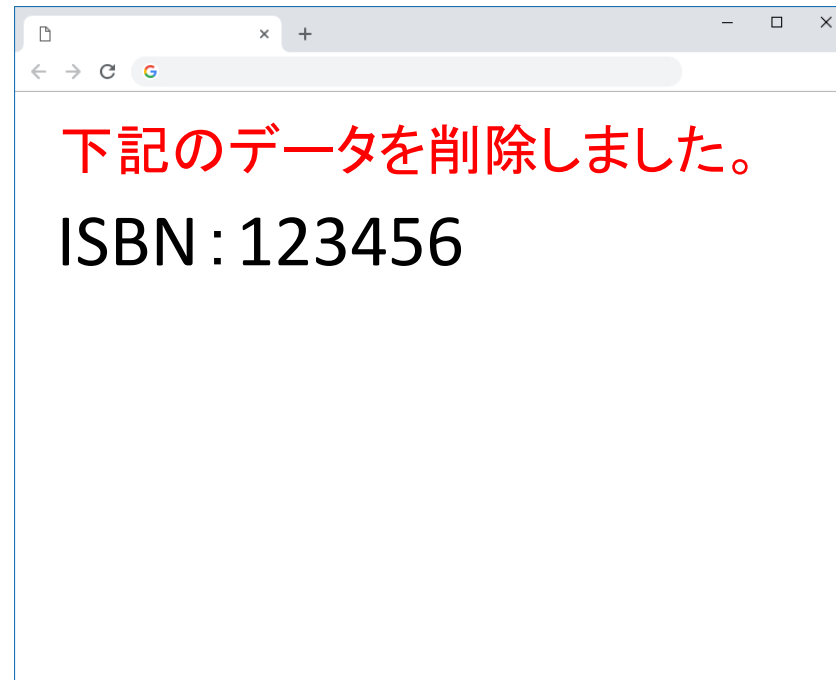
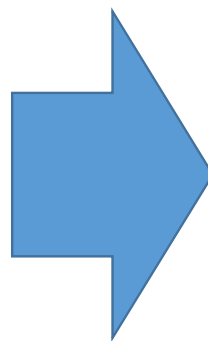
◆練習問題 (必須課題)

問2: フォームに入力されたISBN番号をもとに図書DBからデータを削除するアプリケーションを作成せよ。



削除する図書のISBN番号を入力してください。

ISBN:



下記のデータを削除しました。

ISBN: 123456

◆チャレンジ問題 (2点)

問3:よくある会員登録画面を作成せよ。

画面のレイアウトは自分で考えること。(amazonや楽天などを参考にしてOK)
また、フォーム入力した内容をデータベースへ会員情報を登録すること。
データベースは自分で設計すること。

ただし、下記の仕様は必ず満たすこと。

- ・メールアドレスの入力があること。
- ・パスワードの入力があること。
- ・ラジオボタンによる入力があること。
- ・チェックボックスによる入力があること。

